

まちづくり交付金 事後評価シート
大久保二、三丁目地区

平成22年2月

東京都新宿区

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	東京都	市町村名	新宿区	地区名	大久保二、三丁目地区			面積	61ha					
交付期間	平成17年度～平成21年度	事後評価実施時期	平成21年8月～平成21年12月	交付対象事業費	3,065	国費率	0.4							
当初計画に位置づけ、実施した事業 当初計画から削除した事業 新たに追加した事業 交付期間の変更	基幹事業	事業名 区道(1路線)、公園(大久保北公園、西大久保児童遊園)、地域生活基盤施設(施設案内板)、高質空間形成施設(道路修景整備)												
	提案事業	事業活用調査(地区内交通計画調査)												
	当初計画から削除した事業	基幹事業	事業名 高質空間形成施設(ガード下修景整備)			削除/追加の理由 地域要請を受け鉄道事業者自らが修景事業を行ったことによる			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響 指標への影響なし					
		提案事業	地域創造支援事業(細街路拡幅支援事業)			国により都市再生街区基準点を設置したことによる			指標への影響なし					
	新たに追加した事業	基幹事業	-											
		提案事業	-											
	当初	平成17年度～平成21年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響										
	変更	変更なし												
	2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標1	地区内交通量	台/時	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
					基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
				790	H16	600	H21	-	290	○	あり	補助72号線整備はまだ完了していないものの、周辺の道路整備なども寄与し、地区内道路における通過交通量は減少傾向にある。今後補助72号線の完成により、さらなる交通量の減少による、地区内道路の歩行者通行の安全性向上が期待される。	H23年8月	
										なし				
指標2		地区内の緑被率	%	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値							
				18.8	H12	19.8	H21	-	21.5	○	あり	まちづくり交付金事業で実施した緑化事業だけでなく、緑化計画制度による緑化指導、屋上緑化等助成制度及び接続道路部緑化制度により、地区内の民間施設の緑化も進んでおり、緑被率の向上に大きく寄与している。また、緑化の推進により、周辺居住環境が改善されてきている。	H23年3月	
										なし				
指標3		駅前の建築行為件数	件	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値							
			0	H16	10	H21	-	13	○	あり	補助72号線整備はまだ完了していないものの、周辺の道路や公園の整備なども寄与し、当該道路沿道において建築行為が進んでいることから、新大久保駅周辺の活性化に大きく寄与している。今後、当該道路の完成により、周辺交通環境の改善と周辺地域のさらなる活性化が期待される。	H22年4月		
									なし					
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	その他の数値指標1		従前値		目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期		
			基準年度	目標年度	モニタリング	評価値								
4) 定性的な効果発現状況 ・地区内の緑被率は、投影面に対する緑被面積となっているため、壁面緑化面積はカウントされないが、緑化制度等を活用した壁面緑化も進んでおり、地区内の緑被率は評価値以上に向上している。 ・安全に通行できる歩道や街路樹が整備されたことにより、散歩やジョギングをする人が増えている。														
5) 実施過程の評価			実施内容				実施状況				今後の対応方針等			
	モニタリング	なし					都市再生整備計画に記載し、実施できた							
							都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した							
							都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							
	住民参加プロセス		公園の整備計画作成にあたっては、地域の要望等を取り入れるため、周辺住民とワークショップ形式による住民参加の手法を活用する。				都市再生整備計画に記載し、実施できた				● 今後も公園機能の維持・管理のため、地域住民との意見交換会を実施し、意見反映に努める。			
				都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した										
				都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった										
持続的なまちづくり体制の構築	なし					都市再生整備計画に記載し、実施できた								
						都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した								
						都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								

様式2-2 地区の概要

大久保二、三丁目地区まちづくり交付金の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値
良好な住環境を形成し、防災・安全を強化するとともに、既存の大規模公園などを活かし、みどり豊かで地域が誇れる快適なまちづくりの実現 ・居住環境を改善し、安全に暮らせるまちの実現を図る。 ・駅から、公園、大規模施設への快適なアクセス機能を確認するとともに、緑化の充実を図る。 ・新大久保駅周辺の環境改善により、駅前の活性化と快適性の向上を図る。	地区内交通量	単位：台/時 790 H16	600 H21	290 H21
	地区内の緑被率	単位：% 18.8 H12	19.8 H21	21.5 H21
	駅前の建築行為件数	単位：件 0 H16	10 H21	13 H21



暫定自転車保管場所整備

ガード下の修景整備

駅舎整備

①道路：補助72号線

沿道土地利用転換の誘導

放置自転車対策（大久保通り）

防犯カメラ設置事業（大久保通り）

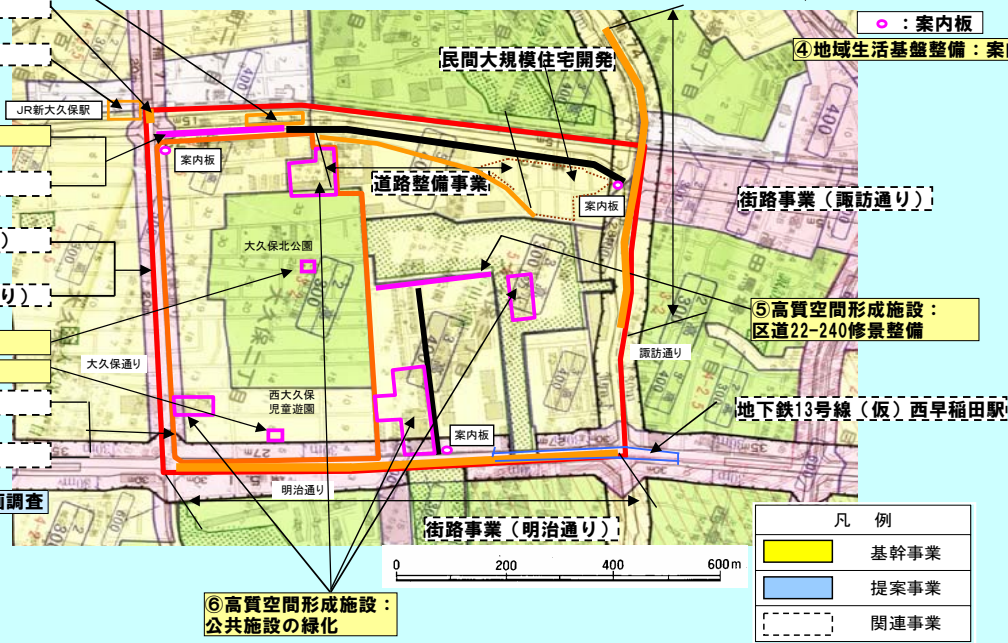
②公園：大久保北公園

③公園：西大久保児童遊園

都市再生街区基本調査

防犯パトロール実施事業

⑦事業活用調査：地区内交通計画調査



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> 補助72号線は完成していないものの、周辺道路整備の進行により、地区内生活道路の通過交通量は減少しており、地区内道路の安全性の向上が図られている。 案内板の設置により大久保公園や周辺公共施設への誘導がスムーズになる見込みである(平成22年度3月完成予定)。 緑化計画制度による緑化指導、屋上緑化等助成制度及び接続道路部緑化制度により地区内の緑被率は増加しており、みどりによる潤いや安らぎを感じられる空間を創出できた。 補助72号線沿道の建築行為が進んでおり、新大久保駅周辺の活性化が図られている。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 現在進行中である補助72号線(第1期)の道路事業の早期完了させ、地区内交通量を減少させるとともに、安全で魅力ある歩行者空間の形成を図ることが必要である。 新宿区のみどりの維持・管理コスト低減のため、地域住民が核となった公園サポーター(登録制公園管理組織、地域住民等が中心となり草むしり等を実施する)拡大が必要である。 公園においては、ホームレス対策のため、新宿区と住民が協働で検討することが必要である。 地区内には狭隘道路が多く存在し、さらなる歩行者安全性の向上のため、地域住民を加えた懇談会等により意見収集しつつ、地域内主要区画道路の拡幅整備や無電中化、交通規制等による安全対策の推進が必要である。 緑化計画制度による緑化指導、屋上緑化等助成制度及び接続道路部緑化制度による民間施設緑化を推進するとともに、制度の周知徹底を図ることが必要である。また、地域内の公共施設や公園等においては、「大久保つつじ」を活かしたみどりのまちづくりも推進していく必要がある。 障害者や高齢者にも優しい歩行空間を目指し、ユニバーサルデザインの考え方を取り入れた検討が必要である。

まちづくり交付金 事後評価シート (添付書類)

(1) 成果の評価

- 添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)
- 添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測
- 添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

(2) 実施過程の評価

- 添付様式3-① モニタリングの実施状況
- 添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況
- 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

(3) 効果発現要因の整理

- 添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理
- 添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

(4) 今後のまちづくり方策の作成

- 添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制
- 添付様式5-② まちの課題の変化
- 添付様式5-③ 今後のまちづくり方策
- 添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見
- 添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画
- 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方
- 添付様式6-参考記述 今後、まちづくり交付金の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

(5) 事後評価原案の公表

- 添付様式7 事後評価原案の公表

(6) まちづくり交付金評価委員会の審議

- 添付様式8 まちづくり交付金評価委員会の審議

(7) 有識者からの意見聴取

- 添付様式9 有識者からの意見聴取

(1) 成果の評価

添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標		●			
B. 目標を定量化する指標		●			
C. 目標値		●			
D. その他()		●			

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
道路	補助72号線	2,540	補助72号線 L=217m	2,915	補助72号線 L=217m	用地交渉による事業費の増加	地区内交通量の指標に関係するが、地区内交通量の見込みを現在の通過交通車両から判別する計測手法に見直したことから、数値目標は据え置く。		●
公園	大久保北公園	19	大久保北公園 783㎡	13	大久保北公園 783㎡	国費対象事業費の減	地区内緑被率の指標に関係するが、緑被規模に大きな変更はないため、数値目標は据え置く。	●	
公園	西大久保児童遊園	7	西大久保児童遊園 316㎡	11	西大久保児童遊園 316㎡	整備規模の拡大による事業費の増加	地区内緑被率の指標に関係するが、緑被規模に大きな変更はないため、数値目標は据え置く。	●	
地域生活基盤施設	施設案内板	2	3箇所設置	2	3箇所設置	特になし	影響なし		●
高質空間形成施設	道路修景整備	117	特別区道22-240 L=200m	40	特別区道22-240 L=200m	国費対象事業費の減	影響なし	●	
高次都市施設									
土地区画整理事業(都市再生)									
住宅市街地総合整備事業									

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地区再開発事業									
バリアフリー環境整備事業									
優良建築物等整備事業									
住宅市街地総合整備事業									
街なみ環境整備事業									
住宅地区改良事業等									
都心共同住宅供給事業									
公営住宅等整備									
都市再生住宅等整備									
防災街区整備事業									

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

提案事業									
事業	細項目	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地域創造 支援事業	細街路拡幅支援事業	3,28ha		0	—	国により都市再生街区基準点を設置したため、不要となり事業中止	影響なし	-	-
事業活用調査	地区内交通計画調査	5,28ha		5,A=28ha		変更なし	影響なし	●	
まちづくり 活動推進事業									

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

(参考)関連事業								
事業	細項目	事業箇所名	事業費		事業期間		進捗状況及び所見	備考
			当初計画	最終変更計画	当初計画	最終変更計画		
街路事業		明治通り			平成15年～平成21年	平成15年～平成21年	工事実施中	
街路事業		諏訪通り			平成5年～平成22年	平成5年～平成27年	工事実施中(JR)	
駅舎整備		新大久保駅			未定	未定	未定	
地下鉄新駅整備		(仮)西早稲田駅			平成13年～平成18年	平成13年～平成18年	平成20年6月14日開設	
防犯カメラ設置事業		大久保通り	32	32	平成16年～平成16年	平成16年～平成16年	16年度完了	
防犯パトロール事業		大久保二丁目地区内			平成17年～平成21年	平成17年～平成21年	事業実施中	
ガード下の修景整備		大久保通り			未定	未定	平成21年度完了	
道路整備事業		大久保三丁目6			未定	未定	平成25年度完成予定	
大規模住宅開発		大久保三丁目8			未定	平成21年～平成25年	都市計画手続中	
暫定自転車保管場所整備		大久保二丁目3	20	20	平成17年～平成17年	平成17年～平成17年	平成17年度完成	
放置自転車対策(啓発活動)		大久保通り	10	10	平成17年～平成21年	平成17年～平成21年	事業実施中	
土地利用誘導事業		百人町二丁目3			平成17年～平成21年	平成17年～平成21年	事業実施中	
都市再生街区基本調査		大久保地区			平成17年～平成18年	—	平成18年度完了	

添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指標	単位	データの計測手法と評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		目標値 (ウ)		数値(エ)			目標達成度※2		1年以内の達成見込みの有無		
			基準年度	基準年度	従前値	基準年度	目標値	目標年度	モニタリング	事後評価	数値	事後評価	あり	なし		
指標1	地区内交通量	台/時	-	-	790	H16	600	H21	モニタリング			モニタリング				
									事後評価	確定	290	事後評価	○			
指標2	地区内の緑被率	%	-	-	18.8	H12	19.8	H21	モニタリング			モニタリング				
									事後評価	確定	21.5	事後評価	○			
指標3	駅前の建築行為件数	件	-	-	0	H16	10	H21	モニタリング			モニタリング				
									事後評価	確定	13	事後評価	○			

指標	目標達成度○△×の理由 (達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む)	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
指標1	平成21年9月29日に実施した交通量調査結果から、地区内交通量は345台であり、そのうち普通貨物車、バス等は56台であったことから、補助72号線の完成により普通貨物車、バス等は補助72号線に振り変わる見通しのため。	平成16～17年には、地下鉄工事に伴って明治通りが大渋滞しており、その結果、地区内道路を通過する車両が多かったと考えられる。そのため従前値自体が特異値であり、今回求めた評価値が従前値に近い値であったことも考えられるため、補助72号線の整備完了(平成23年3月)後に、従前値と同様の調査を実施し、今回求めた評価値を基準とした場合の交通量の減少量も併せて再確認するとともに、結果を報告する。
指標2	平成17年度成果とりまとめ(平成18年3月)時点で、地区内緑被率は21.3%であり、すでに目標を達成しており、その後も、各種整備により緑化を進めていることから、緑被率が減少しているとは考えにくい。	航空測量は、投影面積に占める緑被面積を測定するため、壁面緑化は測定できないが、壁面緑化も推進しており、数値以上の緑被面積の増加が見られる。
指標3	平成21年8月現在ですでに10件の建築行為がなされており、目標が達成しているため。	現在建築中の建物も含め、平成21年度中に新たに3戸の建築が予定されているため、今年度内に13件の建築が見込まれる。
指標4		

※1 計画以前の値とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

※2 目標達成度の記入方法

○: 評価値が目標値を上回った場合

△: 評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合

×: 評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合

添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

- ・航空測量では、投影面積に占める緑被面積を測定するため、壁面緑化は測定できないものの、壁面緑化も推進しており、数値以上の緑被面積の増加が見られる。
- ・地区内の交通量が減少しており、安全に通行できる歩道や街路樹が整備されたことから、散歩やジョギングを楽しむ人が増えている。

(2) 実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

添付様式3-① モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
なし	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		

添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
公園の整備計画作成にあたっては、地域の要望等を取り入れるため、周辺住民とワークショップ形式による住民参加の手法を活用する。	予定どおり実施した	<ul style="list-style-type: none"> ● 大久保北公園整備にかかるワークショップの開催 【実施頻度】計6回 【実施時期】平成18年度中 【実施結果】大久保北公園については、地域住民参加形式のワークショップを実施し、区が提示した数案をもとに検討を行った。その結果、計画段階から住民意向を反映して事業化できた。 	今後も公園機能の維持・管理のため、地域住民との意見交換会を実施し、意見反映に努める。
	予定はなかったが実施した	<ul style="list-style-type: none"> 西大久保児童遊園にかかるワークショップの開催 【実施頻度】計4回 【実施時期】平成19年度中 【実施結果】西大久保児童遊園については、区が提示した案の地域住民への周知を図るとともに、地域住民参加形式のワークショップを実施することにより、計画段階から住民意向を反映して事業化できた。 	
	予定したが実施できなかった (理由)		

添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
		i. 体制構築に向けた取組内容	ii. まちづくり組織名・組織の概要	
なし	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由)			

(3) 効果発現要因の整理

添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
庁内検討会(庁内の横断的組織)	新宿区みどり土木部道路課、みどり土木部公園課、区長室特命プロジェクト推進課、都市計画部地域整備課、都市計画部景観と地区計画課	●期間中3回の会議を実施 第1回:平成21年8月7日 第2回:平成21年10月14日 (平成21年11月28日~31日に検討メンバー内の回覧を実施) ●その他、メール等にて意見交換を実施	新宿区みどり土木部道路課(まちづくり交付金主管課)

添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標1		指標2		指標3			
指標名		地区内交通量		地区内の緑被率		駅前建築行為件数			
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見
基幹事業	補助72号線 大久保北公園 西大久保児童遊園 施設案内板 道路修景整備	◎ ◎ ◎ ○ ○	補助72号線整備はまだ完了していないものの、周辺の道路整備なども寄与し、地区内道路における通過交通量は減少傾向にある。今後補助72号線の完成により、さらなる交通量の減少による、地区内道路の歩行者通行の安全性向上が期待される。	◎ ◎ ◎ - ◎	まちづくり交付金事業で実施した緑化事業だけでなく、緑化計画制度による緑化指導、屋上緑化等助成制度及び接続道路部緑化制度により、地区内の民間施設の緑化も進んでおり、緑被率の向上に大きく寄与している。また、緑化の推進により、周辺居住環境が改善されてきている。	◎ ◎ ◎ ◎ ◎	補助72号線整備はまだ完了していないものの、周辺の道路や公園の整備なども寄与し、当該道路沿道において建築行為が進んでいることから、新大久保駅周辺の活性化に大きく寄与している。今後、当該道路の完成により、周辺交通環境の改善と周辺地域のさらなる活性化が期待される。		
		地区内交通計画調査		◎		-		-	
関連事業	街路事業 明治通り 街路事業 諏訪通り 地下鉄新駅整備 防犯カメラ設置事業 防犯パトロール事業 ガード下の修景整備 道路整備事業 大規模住宅開発 暫定自転車保管場所整備 放置自転車対策(啓発活動) 土地利用誘導事業 都市再生街区基本調査	○ ○ ○ - - ○ ◎ ○ ○ ○ ○ ◎ ◎		◎ ◎ - - - ◎ ◎ ○ - ◎ ◎		○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ◎ ◎			

※指標改善への貢献度

- ◎: 事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
- : 事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
- △: 事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
- : 事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

今後の活用	歩行者安全性の確保のため、地域住民を加えた懇談会等を実施し、改善点などを継続的に確認し、安全性の維持・向上に努める。	緑化指導を推進するとともに、屋上緑化や接続道路部緑化に対する助成制度を活用してもらえらるよう、広報やHP等でさらなる周知を図っていく。	地域住民を加えた懇談会等を実施し、今後のまちづくりに対する住民意見を収集し、新大久保駅前周辺地区の良好な市街地形成に努める。
-------	--	---	--

(4) 今後のまちづくり方策の作成

添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
まちづくり評価委員会	日本大学理工学部教授、富久北町会長、歌舞伎町二丁目町会長、大久保二丁目町会長	第1回：平成21年9月18日 第2回：平成21年10月28日	新宿区みどり土木部道路課(まちづくり交付金主管課)

添付様式5-② まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	達成されたこと(課題の改善状況)	残された未解決の課題	事業によって発生した 新たな課題
南側地区での交通量増加による居住環境改善の必要性和防災面の強化及び安全性の向上	・関連整備事業により地域内通過交通量は改善しつつある。そのため、地域住民の生活道路としての安全性の向上が図られており、補助72号線の開通により、更なる効果が期待される。	・用地買収の遅れにより、補助72号線への通過交通量の振替えが進んでいない。また、幅員拡幅による消火活動の効果が発揮されていない。	<ul style="list-style-type: none"> ・歌舞伎町二丁目で整備している西武新宿駅前通りと大久保二、三丁目地区で整備している補助72号線との間の区間は、未接続のままであり、通過交通を振り替える効果を十分に発揮しないため、両区間の接続が望まれる。 ・壁面緑化等により増加した緑の維持・管理費の増加 ・早稲田大学横のカラー舗装道路については、車椅子利用者から、路面の凹凸が大きく利用しづらいという意見が出ており、今後車椅子利用者にも優しい空間とするため、凹凸をなくすための方策等の検討が必要である。
公園等施設の老朽化によるイメージ悪化と暗いイメージからくる利用状況悪化ならびに周辺緑化の推進	・公園の再整備によりイメージアップが図られると共に、壁面緑化・街路樹植栽が完了したことにより、みどりの連続性が生まれ、安らぎの空間創出ができ、カラー舗装整備・案内板設置によりアクセス向上による利便性・安全性の強化が図れた。	・大久保北公園が再整備されたものの、ホームレスが居ついており、ホームレス対策が進んでいない。また、地域全体を対象とした緑化の普及促進が進んでいない。	
新大久保駅周辺の活性化を図るための環境面、景観面の向上	・補助72号線の整備はまだ完了していないものの、沿道の建築行為が進んでおり、新大久保駅周辺の活性化が見られる。地域案内板の設置により、地域内の公共施設への誘導が円滑に行われるようになった。	・補助72号線が当初計画より遅れており、地区内交通量減少の改善効果が未知数である。	

これを受けて、成果の持続にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③A欄に記入します。

これを受けて、改善策にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③B欄に記入します。

添付様式5-③ 今後のまちづくり方策

A欄 効果を持続させるため に行う方策	効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業
	南側地区での交通量増加による居住環境改善と防災面の強化及び安全性の向上	・地区内交通環境改善として通過交通流入を抑制するため、地区外郭を形成する幹線道路と共に、都市計画道路補助72号線の開通により更なる効果が期待される。 ・街路整備等の効果をより高めるため、地区内の交通処理再編のための計画作成調査を実施する。	・幹線道路整備事業 ・安心・安全歩行エリア整備事業 ・都市計画道路整備事業 ・交通処理再編調査事業
	公園等施設の老朽化によるイメージ向上、利用状況向上ならびに周辺緑化の推進	・地区内のみどりや公園を維持・管理するため、地域住民が核となった公園サポーター（登録制度による地域住民等の草むしり等を実施する公園管理者）の拡大が必要である。 ・緑化計画制度による緑化指導、屋上緑化等助成金制度及び接続道路部緑化制度による民間施設緑化を推進することにより、緑化の維持・増加に努める。	・公園サポーターの募集事業 ・緑化計画制度推進事業 ・民間施設緑化推進事業
	新大久保駅周辺の活性化を図るための環境面、景観面の向上	・補助72号線の整備を推進し、歩行環境や駅前景観の向上のため、電線共同溝方式によって無電柱化を図り、地元協議会等と協働し、修景整備を行う。	・都市計画道路整備事業 ・駅前景観整備事業 ・無電柱化事業

B欄 改善策	改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業
	補助72号線の道路事業早期完了	・現在進行中である補助72号線(第1期)の道路事業の早期完了が必要である。	
	みどりの維持・管理コスト低減	・新宿区のみどりの維持・管理コスト低減のため、地域住民が核となった公園サポーターの拡大が必要である。	・公園サポーターの募集事業
	公園のイメージ向上	・ホームレス対策のため、新宿区と住民が協働で検討することが必要である。 ・つづじを生かした魅力あるまちづくりを推進することが必要である。	・住民参加型ワークショップ等の開催による情報交換 ・大久保つづじ植栽事業
	歩行者の安全性の確保	・地区内には、狭隘道路が多く存在するため、さらなる歩行者の安全性の確保のため、地域住民を加えた懇談会等により意見収集や検討が必要である。 ・地域内主要区画道路の拡幅整備や無電中化、交通規制等による安全対策の推進が必要である。	・歩行者通路整備事業 ・主要区画道路整備事業 ・住民参加型ワークショップ等の開催による情報交換
緑化推進	・緑化計画制度による緑化指導、屋上緑化等助成制度及び接続道路部緑化制度による民間施設緑化を推進するとともに、制度の周知徹底を図る。	・緑化助成制度周知活動に関する事業	

フォローアップ又は次期計画等
において実施する改善策
を記入します。

なるべく具体的に記入して下さい。

■様式5-③の記入にあたっては、下記の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載して下さい。(チェック欄)

●	交付金を活用するきっかけとなったまちづくりの課題(都市再生整備計画)を再確認した。
●	事業の実施過程の評価(添付様式3)を再確認した。
●	数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用(添付様式4-②)を再確認した。
●	数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針(添付様式4-③)を再確認した。
●	残された課題や新たな課題(添付様式5-②)を再確認した。

添付様式5ー参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見

- ・早稲田大学周辺のカラー舗装により、歩行者安全性が向上しているが、車椅子利用者にとっては利用しづらい空間となっているため、今後ユニバーサルデザインを視野に入れた整備を検討することが必要である。
- ・パーキングメーターが設置されることにより、道路拡張効果が半減している例が見られるため、パーキングメーター設置の可否も含めた検討し、走行車線を確保していくことが必要である。

添付様式5ー④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画

- ・フォローアップの要否に関わらず、添付様式2ー①、2ー②に記載した全ての指標について記入して下さい。
- ・従前値、目標値、評価値、達成度、1年以内の達成見込みは添付様式2ー①、2ー②から転記して下さい。

- ・評価値が「見込み」の全ての指標、目標達成度が△又は×の指標、1年以内の達成見込み「あり」の指標について、確定値を求めるためのフォローアップ計画を記入して下さい。

指標		単位	従前値		目標値		評価値		目標達成度	1年以内の達成見込みの有無	フォローアップ計画		
			年度	年度	年度	年度	確定	見込み			予定時期	計測方法	その他特記事項
指標1	地区内交通量	台/時	790	H16	600	H21	確定 見込み ●	290	○	あり なし	H23年8月	平成23年8月に、従前値と同様の手法で交通量調査を行い、確定値を求める。	
指標2	地区内の緑被率	%	18.8	H12	19.8	H21	確定 見込み ●	21.5	○	あり なし	H23年3月	平成23年3月に、従前値と同様の手法で新宿区が行うみどりの調査結果から、確定値を求める。	平成23年の調査結果がまとまり次第実施する。
指標3	駅前の建築行為件数	件	0	H16	10	H21	確定 見込み ●	13	○	あり なし	H22年4月	平成22年3月に、建築戸数を現地調査により確認し確定値を求める。	
指標4							確定 見込み			あり なし			
指標5							確定 見込み			あり なし			
その他の数値指標1							確定 見込み						
その他の数値指標2							確定 見込み						
その他の数値指標3							確定 見込み						

添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方

・下表の点について、特筆すべき事項を記入します。

項目		要因分析	次期計画や他地区への活かし方
数値目標 ・成果の達成	うまくいった点	・数値目標の設定が、事業による効果発現により達成できるものとなっており、数値目標を達成できた。	・毎年計測可能な指標を設定することで、簡易にモニタリングすることができるため、指標選定において、簡易に計測できるものを採用することが有効である。
	うまくいかなかった点	・各指標に対してモニタリングを実施しなかったため、事業期間中に目標を達成するための効果的な施策を講じることができなかった。	
数値目標と 目標・事業との 整合性等	うまくいった点	・数値目標と事業効果の整合性がとれており、事業効果が指標の改善に明確に現れている。	・指標の選定においては、指標の求め方の検証、事業効果とそれを定量化する内容の整合性を十分整理する必要がある。 ・計測方法や計測時期を視野に入れ、比較的簡易に計測のできる指標とすることが必要である。
	うまくいかなかった点	・地区内交通量は、従前値調査結果から11断面の通過交通量を算出しているが、実際の通過交通量を必ずしも評価できるものではなかった。 ・地区内の緑被率については、5年毎に実施されるため、計測時期に制約があり、適切な評価時期に計測ができなかった。	
住民参加 ・情報公開	うまくいった点	・個別事業(大久保北公園、西大久保児童遊園)などでは、住民参加型のワークショップを実施し、住民に望まれる公園整備を実施できた。	・計画当初からまちづくりに対する意見交換を行う場を設置し、事業に対する意見交換を行う必要がある。
	うまくいかなかった点	・住民参加は個別事業にとどまったため、事業実施期間中に、モニタリング等を実施し、住民意見を取り入れながら効果的な対策を講じることができなかった。	
PDCAによる事業 ・評価の進め方	うまくいった点	・個別事業の計画段階において、ワークショップを実施し、住民意見を取り入れた。	・事業計画段階で、事業効果分析前に完了できる工程で事業を行うことが必要である。
	うまくいかなかった点	・用地交渉の難航等により、事業の評価時期までに事業が完了していなかった。	
その他	うまくいった点	特になし	
	うまくいかなかった点	特になし	

添付様式6－参考記述 今後、まちづくり交付金の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

・今後のまちづくり交付金の活用予定
予定なし

・事後評価を予定している地区

本区においては、平成22年度に西新宿六丁目西部、八丁目地区の事後評価実施を予定。当地区の事後評価の経験を踏まえて、円滑に事後評価を実施したい。

(5) 事後評価原案の公表

添付様式7 事後評価原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	区のホームページに掲載	平成21年11月14日～11月27日	平成21年11月14日～11月27日	担当課への窓口受付、 電話、FAX、メール	新宿区みどり土木部道路課(まちづくり交付金 主管課)
広報掲載・回覧・個別配布	広報に区のホームページで原案を公表している旨を掲載	平成21年11月15日発刊 広報11月15日号	平成21年11月15日～11月27日		
説明会・ワークショップ	-	-	-		
その他	みどり土木部道路課窓口において縦覧	平成21年11月16日～11月27日	平成21年11月16日～11月27日		

住民の意見	特に意見はなかった。
-------	------------

(6) まちづくり交付金評価委員会の審議

添付様式8 まちづくり交付金評価委員会の審議

委員構成		実施時期	担当部署	委員会の設置根拠	委員会の母体組織
学識経験のある委員	藤井 敬宏 日本大学理工学部 教授	第3回 平成21年12月11日 (平成21年9月18日に制度説明及び現地確認、平成21年10月28日に事前資料説明を実施)	新宿区 みどり土木部道路課(まちづくり交付金 主管課)	新宿区まちづくり評価委員会設置要綱	まちづくり評価委員会
	富久北町会長 歌舞伎町二丁目町会長 大久保二丁目町会長				

審議事項※1		委員会の意見
事後評価手続き等にかかる審議	方法書	・方法書に従って、事後評価が実施されていることが確認された。
	成果の評価	・見込み値としての判断のため評価が難しい面もあるが、当初設定した指標3つすべてを達成することが見込まれるため、評価はできると理解を得た。 ・指標1「地区内交通量調査」の従前値が特異値であった可能性については、原因を分析し追加記載することで対応することで、了承を得た。
	実施過程の評価	・大久保北公園や西大久保児童遊園については、ワークショップの開催により事業の効果発言に寄与しているということが確認された。
	効果発現要因の整理	・地区内の緑被率や駅前の建築行為件数は順調に増加しており、まちの居住環境が改善されてきているという意見があった。 ・今後補助72号線の整備が完了することにより、地区内交通量の減少や地域活性化に繋がるという意見があった。
	事後評価原案の公表の妥当性	・事後評価原案は、HPへのアクセスも多数あった他、みどり土木部道路課への閲覧者もあり、区民に十分に周知された上で、わかりやすく公表されたことが確認された。
	その他	・特になし。
	事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認	・事後評価の手続きは問題ないと判断された。
今後のまちづくりについて審議	今後のまちづくり方策の作成	・早稲田大学横のカラー舗装については、車椅子利用者から路面の凹凸が大きく利用しづらいという意見があったことから、今後車椅子利用者にも優しい空間とする必要があるという意見があった。
	フォローアップ	・フォローアップを実施し、確定値が出された段階で再度評価を行う必要があるという意見があった。 ・フォローアップ調査結果については、情報を公開して欲しいという意見があった。
	その他	・特になし。
	今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認	・今後のまちづくり方策は妥当であると判断された。
その他	・特になし。	

※1 審議事項の詳細は「まちづくり交付金評価委員会チェックシート」を参考にしてください。

都市再生整備計画(第1回変更)

おおくぼ に さん ちょうめ ちく
大久保二、三丁目地区

とうきょうと しんじゅく
東京都 新宿区

平成21年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	東京都	市町村名	新宿区 しんじゅく 新宿区	地区名	おおくほ二 さんしょうめちく 大久保二、三丁目地区	面積	61 ha
計画期間	平成 17 年度 ~ 平成 21 年度	交付期間	平成 17 年度 ~ 平成 21 年度				

目標

- 良好な住環境を形成し、安全性を強化するとともに、既存の大規模公園などを活かし、みどり豊かで地域が誇れる快適なまちづくりの実現
- ・居住環境を改善し、安全に暮らせるまちの実現を図る。
 - ・駅から、公園、大規模施設への快適なアクセス機能を確認するとともに、緑化の充実を図る。
 - ・新大久保駅周辺環境改善により、駅前の活性化と快適性の向上を図る。

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

- ・北側地区は、大規模公園や学校・スポーツ施設等の公共施設が立地し、区の広域避難場所に指定されている。一方、南側地区は4mに満たない細街路と木造住宅が多く、防災上の問題を抱えている。
- ・地区をとりまく交通環境として、地区の外郭を形成する道路である明治通り、諏訪通り及び補助72号線が事業中であり、また地下鉄13号線(仮)西早稲田駅が建設中であるなど、都市計画に基づく整備が進められている。
- ・新宿区都市マスタープランでの地区整備の方針策定に際して、平成7年度に地元説明会及び意見募集等を行い、平成8年度に計画を策定した。
- ・隣接地区を含めた地元町会・商店会を中心に、地域の環境浄化に関する協議会を平成16年9月に設立し、防犯パトロールや放置自転車対策活動を行うなど、地域環境改善に関するまちづくりの機運が高まっているところである。

課題

- ・南北幹線道路等での渋滞の影響から、南側地区内への通過交通の流入が多く、居住環境の悪化や交通の安全が脅かされている。
- ・南側地区では、一定の不燃化領域率は達成したものの、4m未満の細街路がほとんどで道路の基盤整備は未だ脆弱であり、防災面の強化が必要である。
- ・地区内の小規模公園は、施設の老朽化などの影響から暗いイメージが目立ち、夜間における犯罪等の誘発が危惧される。また、地域に親しまれるものとなっておらず、利用状況も悪い。
- ・戸山公園は区内でも有効の大規模公園であるが、新大久保駅や(仮)西早稲田駅等からのアクセスの安全性、快適性及び案内性が低い状況にある。また、戸山公園周辺には大規模な公共施設が点在するが、公共のみどり空間として一体性・連続性に欠けている。
- ・新大久保駅付近では、駅の老朽化やガード下の暗いイメージ等があり、周辺の活性化を図るため、環境面、景観面の向上が望まれる。

将来ビジョン(中長期)

都市生活を楽しめるゆとりあるまち

- ・新宿区都市マスタープランにおいては、北側地区は文化・スポーツの活動拠点として、南側地区は生活道路の整備を進めるなど居住環境の改善と安全に暮らせるまちづくりを方針としている。

目標を定量化する指標

指標	単位	定義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
1. 地区内交通量	台/時	南側地区西側の地区内道路におけるピーク時間の通過車両交通量	住環境改善と交通安全対策として、地区内へ流入する通過車両交通量を指標とし、1/4程度の軽減を見込む。	790	平成16	600	平成22
2. 地区内の緑被率	%	地区面積における樹木・樹林、草地、屋上緑化等の面積の割合	道路、公共施設への緑化とともに、民間施設への緑化推進により、地区内の緑被率を指標とし、1%程度の向上を目指す。	18.8	平成12	19.8	平成22
3. 駅前の建築行為件数	件	補助72号線沿道(新大久保駅から約220mの区間)における建築行為件数	新大久保駅周辺の活性化のため、周辺の建築行為件数を指標とし、沿道宅地の区画数における1/3程度の建て替え件数を目標とする。	0	平成16	10	平成22

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>・居住環境改善と安全性向上</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地区内交通環境改善として通過交通流入を抑制するため、地区外郭を形成する幹線道路とともに、都市計画道路補助72号線を整備する。 2. 街路整備等の効果をより高めるため、地区内の交通処理再編のための計画作成調査を実施する。 3. 防災性向上を図るため、地区内の細街路については、建築主と区とが役割分担し、建替え等にあわせたセットバックを促進する。その促進策として、後退部分の測量等が容易かつ精度が高められるよう公共基準点の整備を行なう。 4. 地区内の小規模な公園(大久保北公園、西大久保児童遊園)についてイメージアップを図り、より地域に親しめ、安全で利用しやすい公園に再生する。公園の整備計画作成に当たっては、地域の要望等を取り入れるため、周辺住民とワークショップ形式による住民参加の手法を活用する。 	<p>道路事業(基幹事業／補助72号)、街路事業(関連事業／環状5-1号、補助74号) 地域創造支援事業(提案事業／地区内交通調査) 地域創造支援事業(提案事業／細街路拡幅支援事業)</p> <p>公園事業(基幹事業／大久保北公園、西大久保児童遊園)、防犯カメラ設置事業(関連事業)、防犯パトロール事業(関連事業)</p>
<p>・公園等へのアクセス強化と周辺緑化の推進</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. (仮)西早稲田駅から戸山公園へ向かう東西の区道については、緑陰をつくる豊かな植栽、歩道のカラー舗装等を施した道路として整備されている。この道路から直接戸山公園に接続する区道22-240についても、りっぱな街路樹や環境に配慮した舗装など、憩いと潤いのある道路として整備する。 2. 新大久保駅から戸山公園への安全で快適なアクセス路を整備する。補助72号については、「光と風の散歩道」として、植栽を充実し快適で魅力ある歩行者空間を創出する。 3. 戸山公園とのみどりの連続性や地区内緑化の向上を図るため、周辺の公共の壁面・屋上緑化等を整備する。更に、民間開発等にあわせた緑化の指導等により地区内緑化の推進に努める。 4. 戸山公園や周辺の公共施設への誘導を円滑にするため、駅周辺において案内板を整備する。 	<p>高質空間形成施設事業(基幹事業／区道22-240修景整備)</p> <p>道路事業(基幹事業／補助72号)、道路整備事業(関連事業)</p> <p>高質空間形成施設事業(基幹事業／公共施設緑化)、民間大規模住宅開発(関連事業)</p> <p>地域生活基盤施設事業(基幹事業／施設案内板設置)</p>
<p>・新大久保駅周辺の活性化</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 駅前の活性化を図り、地区内の回遊性を高めるため、補助72号の整備を推進する。また、歩道の整備に当たっては、歩行環境や駅前景観の向上のため、電線共同溝方式による無電柱化を図る。 2. 大久保駅周辺の歩行環境改善と景観の向上を図るため、地元協議会等と協働し、鉄道ガード下における修景整備を行なう。 	<p>道路事業(基幹事業／補助72号の電線共同溝整備)、駅舎整備(関連事業)、沿道土地利用転換の誘導(関連事業)</p> <p>高質空間形成施設事業(基幹事業／区道22-270ガード下修景整備)、大久保通りガード下修景整備(関連事業)、放置自転車対策事業(関連事業／啓発活動)、暫定自転車保管場所の整備(関連事業)</p>
<p>その他</p>	

交付対象事業等一覧表

交付対象事業費	3,065	交付限度額	1,226	国費率	0.4
---------	-------	-------	-------	-----	-----

(金額の単位は百万円)

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度					
道路		補助72号線	新宿区	直	217m	5	21	17	21	16,016	2,915	2,915		2,915
公園		大久保北公園	新宿区	直	783㎡	18	18	18	18	19	19	19		19
		西大久保児童遊園	新宿区	直	316㎡	20	20	20	20	7	7	7		7
河川														
下水道														
駐車場有効利用システム		-			-									
地域生活基盤施設		-	新宿区	直	-	21	21	21	21	2	2	2		2
高質空間形成施設		-	新宿区	直	-	17	21	17	21	117	117	117		117
高次都市施設		-			-									
既存建造物活用事業		-			-									
都市再生交通拠点整備事業														
土地区画整理事業														
市街地再開発事業														
住宅街区整備事業														
地区再開発事業														
人にやさしいまちづくり事業														
優良建築物等整備事業														
住宅市街地総合整備事業	拠点開発型													
	沿道等整備型													
	密集住宅市街地整備型													
	耐震改修促進型													
街なみ環境整備事業														
住宅地区改良事業等														
都心共同住宅供給事業														
公営住宅等整備														
都市再生住宅等整備														
防災街区整備事業														
合計										16,161	3,060	3,060	0	3,060

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度					
地域創造支援事業	細街路拡幅支援事業	大久保二丁目地内	新宿区	直	28ha	17	17	17	17	0	0	0		0
事業活用調査	地区内交通計画調査	大久保二丁目地内	新宿区	直	28ha	19	19	19	19	5	5	5		5
まちづくり活動推進事業														0
														0
合計										5	5	5	0	5
													合計(A+B)	3,065

